

教科目標

教育・社会福祉専門課程 医療心理科（昼間３年制）

養成目的

医療機関や福祉施設・企業において、心理学やカウンセリング技術を土台に、心と健康を守る人材を養成する。産業分野においては、幅広い領域で心理学の知識や技術を柔軟に応用して活躍できる人材の育成を目的とする。

教育目的（ミッション）

1. 心理カウンセリング専攻

大学編入と大学卒業を目指し、企業や福祉サービスにおいて心理的な支援を必要とする当事者や家族に対して、適切な支援ができる人材を育成する。

2. 精神保健福祉専攻

精神科病院、精神科クリニック、心療内科クリニック、地域施設や福祉サービスにおいて当事者や家族に対し、適切な相談援助ができる精神保健福祉士を養成する。

3. 医療ソーシャルワーカー専攻

企業や福祉サービスにおいて、心理的な支援を必要とする当事者や家族に対して、適切な支援ができる人材を育成する。

4. 医療保育専攻

相談援助の専門知識を生かして、児童施設等で支援を必要とする児童・保護者に適切な支援ができる保育士（通信教育併修）を目指す。

養成目標（到達目標）

本学科では相談援助、心理学的知識の応用をもって幅広い分野で活躍する人材の育成を目標とする。

取得目標資格

1. 精神保健福祉士（国家資格）受験資格【要実務経験１年】
2. J E S C 認定カウンセラー資格
3. メンタルヘルス・マネジメント検定
4. 心理学検定
5. 色彩福祉検定
6. ケア・コミュニケーション検定

就職分野

精神科病院、精神科クリニック、心療内科クリニック、総合病院、障害者福祉施設、医療・福祉関連企業・法人、保育園、児童施設、一般企業など。

職種

精神科ソーシャルワーカー（PSW）、ケースワーカー、生活相談員、生活指導員、ケアワーカー、看護助手、スクールソーシャルワーカー（SSW）、精神科リハビリテーション助手、企業内メンタルヘルスカウンセラー、人事・総務、一般サービス業など。